

全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース 6月号 (No.223)

2022年6月28日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

経営懇役員リレーエッセイ

保育の仕事と我が子育てと

6月と言えば、私は6月に結婚した。シューンブライド。Juno 女神が守護する月で、この月に結婚した花嫁は生涯幸せに暮らせるといわれているが、さあどうであろうか。

私の結婚式は、親に反対されて理解を得たくて、親族参加の神前挙式・披露宴と別に仲間が手作りで開催してくれた会費制の会と、その日2回のパーティーを行った。後の会は多くの知人や保育園の父母や子どもたちもいた。和太鼓披露や二人の出会いクイズ等で祝ってもらい感激だった。多くの人に祝ってもらったことから『人のために役にたてたら』を信条に過ごしてきた。建設業の夫と毎日会議の保育士の生活は結構大変だった。頼りにしていた姑は、娘と息子が生まれて5年後に乳癌を発病して帰らぬ人となった。同時期に実家の母は、脳梗塞で倒れ闘病生活をしていて、子育て中は両方の母が病気で頼れなかった。しかし身近にいた知人が子の病気をした時やお迎えが困難な時に助けてくれた。子育て期はあつという間に済んできたように思う。憧れの保育士になり、子育てをしながら働き、今は時々娘・息子の家に出向き孫を見ながら更に仕事を続けてきて充実した日々を過ごしてきている。お世話になった周りの皆様には本当に感謝している。

保育では、「愛着形成を育む保育」を学ぶ出会いがあり、紹介があった県内の園へ職員全員が順番に見学に行った。文字通り一人ひとりを丁寧に対応する保育を行っていて今までの保育と勝手が違い、カルチャーショックを受けた。我が園は全職員でこの保育のやり方を学び、保育士間での連携を密にして一人ひとりの子どもを見守る保育を導入している。こ

愛知・(福)一宮乳児福祉会 柴田清美
んな保育があったのかと考え方を変え対応の工夫をし改めて3歳までの育ちを重要視している。以前の保育では、0歳児3人又は4人に食事を一齐に食べさせ始めていた。口から出してしまう子、床に落とってしまう子、うまく持てずにテーブルにこぼしてしまう子等を同時進行で見る。眠くなって着替えをするにはその場を他の保育士に頼み移動して着替えにいく。食事から午睡までは大忙しだった。今は、食事時間を少しずらして一人ひとりに対応する日課づくりをしその子が満足することを重視している。このように仕事では、新たな充実感を感じこの道に進めてよかったと思っている。

しかし、遠方に嫁いだ長女は、子育てでかなり苦戦をしている。コロナ禍の出産は孤独の始まりで産後うつを発症し、期待していた夫の手助けがなく家庭内でごたごたしたことが有った。娘はかたくなで気難しい。何でこんなになったかなと振り返り、もしかしたら幼少期に忙しく過ごしてきた日々が娘に大きな精神負担をかけてきたのかなと思っている。私の言葉かけも雑だったし、仕事中心でスケジュールの押しつけが多かったし、子どもの想いを聞いていなかったのかなと反省しきりで、家庭においての子育ては手落ちだらけと気づいた。

また、「子どもたちには、素敵な社会を渡していきたい」と踏ん張ってきたのに、未だに配置基準は変わらず、保育は「こども家庭庁」に移管されどうなっていくのか。少子高齢化社会だが、困っている時に声が出せて頼りになる社会を、頼りになる保育制度の構築を、「子どもたちにもう一人保育士を！」と、願ってやまない。

保育をめぐる情勢

●こども家庭庁法等、可決 2023年4月創設へ

2022年6月15日の参議院本会議において採決が行われ、与党等の賛成多数で①こども家庭庁設置法案、②その関連法案、③こども基本法案が、与党の自民・公明党の他、国民民主党の賛成で可決されました。

このことで、2023年4月から内閣府の外局としてこども家庭庁が発足することになります。

保育に関わる所管が、厚労省や内閣府の子ども・子育て本部から、こども家庭庁に移ることになりますが、最低基準の改善など保育制度に関わって解決できていない諸課題があることを確認し、その実現に向け所管庁として取り組むよう、2023年4月を待たず、現場の声をまじえ働きかけることが重要です。

●物価高騰、地方創生臨時交付金の活用を

諸物価が高騰し、食材費の値上がりへの対応に苦慮されている園も多いと思います。

国は、こうした事態に対応するために、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下交付金)を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」として予算措置しています。2022年4月に入ってから内閣府や文部科学省等が自治体に対し「学校給食等の負担軽減など」にこの臨時交付金が活用できる旨、事務連絡等を発出しています。この交付金は、「国の施策ではカバーし切れない、地方の実情に応じた取り組みの財源に充て」るもので、その対象は、「各自治体の判断により、地域の実情に応じて」設定できるとしています。

4月26日には、原油価格・物価高騰等に関する

関係閣僚会議が開かれ、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」(以下、緊急対策)では、学校給食等の負担軽減等として、「物価高騰等に直面する保護者の負担軽減に向けた自治体の取組を強力に促し、必要な支援を迅速に行う」としています。この対象は、文科省(学校給食)だけでなく、内閣府・厚生労働省も列記されているので、保育所給食も対象になることは明らかです。

すでに愛知県や札幌市では、保育所給食に対する補助が議会で提案されています。例えば、6月10日付けの『中日新聞』によれば、愛知県として、「物価高騰で給食費増に直面する民間保育所などに、増える給食費に対し、園児一人一食当たり40円を支援する」とのことです。今後、対応する自治体は増加すると見込まれますが、自治体が活用しようとしなければ補助されません。こうした情報や施設の実態を自治体に伝えることが重要です。

また緊急対策では、地方公共団体が原油や電気代・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた事業者の負担軽減を積極的に行うことについても、言及しています。水光熱費高騰を受けた保育所への支援も可能と考えられます。こうした点についても、自治体当局に求めていくことが重要です。

神奈川県鎌倉市では、会員園5園が市長に対し、「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等に関する」緊急申入」を6月6日に行ないました。要望事項は、1物価高騰により食料料金の増加分を保護者に負担を求めなくてもよいようにしてください、2電気・ガス料金を含む物価高騰に対応した助成をしてください、3上下水道料金の減免措置を第二種社会福祉事業に拡充してください、の3点です。

全国各地の会員園から その4本

コロナと戦争と 核なき世界への 願いと・・・

広島・口田なかよし保育園 山下慶子

□ コロナ禍で得たもの

毎年、年が明けて間もない頃から週1ペースで「給食参観日」と題し、食について考え、学びあう給食の試食付懇談会を行なっている。コロナ禍になってからは、「集って食べること」は止めているので、考えあいたいテーマをクラスごとに決め、栄養士の里恵さんにつくってもらった懇談資料を読んで、紙面交流したりという工夫をしている。保護者のみなさんは、子どもたちがモリモリ食べる給食の秘密を知りたくて、この日の「試食」を楽しみにされているので、試食なしについては残念に思っている。

参観をはじめた頃は、給食に特化した会だった。いつの頃からか、せっかくのチャンスだから、その前の当番活動を観てもらいたい・・・保育の様子も観てもらいたい・・・などと、観てもらいたいことが加わっていき、「給食と保育のどちらも参観日」に進化して、それが一年の育った姿を観る会のように位置づいてきた。ずいぶん発展的に変化してきたものだと思う。こうした、ああしたい、と自由に創造できて形を変えていく余地が、保育や教育には必要だと思う。

コロナ禍の一年を過ごし、お正月が明けると、いよいよ参観日だ！と思っていた矢先、たちまち広島の感染状況がすさまじく悪化しはじめ、あれよあれよとまん延防止期間になり、参

観日がすっぱりその期間に入ってしまった。それ以降、延期につぐ延期で、これ以上延ばすともう3月だ。「こんなに大きくなりました！」という姿はどうしても観てもらいたい、見せてあげたい。みんなコロナ禍でも歯を食いしばって頑張ってる日々だもの。せめて、子どもたちの成長した姿をプレゼントしたい！

みんなて話して知恵を集める。歌とリズム表現の動画を録って観てもらっては？どうやって観てもらおう？DVDに焼く？いや、zoomでクラス懇談会だってできたのだから、画面共有して観てもらっては？でも、動画を流すと重くて固まるよ・・・。じゃーYouTubeにアップして観てもらおうのは？・・・でもどうやってアップするん？

早速、「YouTubeのアップの仕方教えたいという方大募集！」と、お便りに書いた。いくつも名乗りをあげてくださる手紙がエールとともに届いて涙が出た。力貸しますよ！と言ってくださる保護者たち。「よし、全員そろったクラスから撮影していこう！」。題して「おうち参観日」。しかし、コロナ禍の日々に、全員揃うことの難しさといったらなかった。揃ったその日が撮影日。「揃いました！」「よし、録ろう！」という具合。「揃いました！」の一言で、何の仕事があってもそれはさておき撮影を！撮影された映像は、まさに公開保育。保育も子どもたちも、隠しようもなくいつも通りだった(笑)

私はどこのクラスの撮影にも同行したが、まるごと保育の公開は、観ていて学ぶことの宝庫だった。人のやってることから学ぶことがたくさんある！自分のことも客観的に見つめられる。これは是非みんな、どのクラスのものも観てみるといい。その後の職員会議は、全部観て集合！という宿題付きで、感じたことや気づきを

出し合い、今後の保育の課題を見つける学習までできるという副産物が付いてきた！というものになった。

発想を変えれば違う世界が見えてくる。コロナ禍の中で得たもの。それは、コロナ禍がなかったら出会うことがなかった世界ばかりだ。

「おうち参観日」をそれぞれの家庭で親子で一緒に観てもらえてよかった。きっといっぱい褒めてもらったと思う。ちょっとずつ、ちょっとずつ、嬉しいことを見つけながら歩いている。きっとどの人もそうしているはず。ちょっとずつの嬉しかったことをそれぞれが持ち寄りながら「今日も頑張ろう！」を積み重ねた。

□戦争と希望の間

希望の火を消すまいとみんなで心をついに頑張って、へとへとになって家にたどり着くや、ウクライナのこどもたちが犠牲になり「死にたくない…」と、恐怖に震え、涙を流しながら地下壕でインタビューに答えている女の子の映像が目に入ってきた。いつもの暮らしに突然爆弾が降ってきて飛び起きたと、着のみ着のまま逃げる市民の姿。戦争は暮らしの中に何の前触れもなく降ってくる。行き場を失い地下鉄のホームに群がった人々。コロナどころではない。ふんぞり返り、核をちらつかせるロシアの大統領。

一方、初の核兵器禁止条約締結国会議が開かれ、核なき世界の実現に向けて動き始める行動計画が世界に発信されるという希望の光が見えるような動きもある中、「核兵器のない世界へ勇気ある平和国家の志」という本を書き、核軍縮がライフワークと掲げる広島出身のこの国の首相は、国民の声をどのようにあの自慢のノートに記しているのだろうか。外務省担当に「日本の参加を！」と直談判した同じ広島出身の若者とは姿勢が真逆だ。

そして、今日は6月23日。沖縄の77年前に心を寄せ、こどもたちに話した。絵本を読みながら…エイサーを踊りながら…。こどもたちの未来から希望を奪ってはならない、と強く思っている。

おしらせ

●54 合研、分科会について

オンライン分科会に参加するには、合研集会への参加申込みを済ませたうえで、合研特設サイトから申込みます（7月2日14時開始）。

分科会の内容・開催日程等も特設サイトをご覧ください。

●2022 年度会費について

総会終了後、会費のお知らせを発送しました。7月末を振込み期限としていますが、なるべくお早めにお振込みください。

※総会内容は次回のニュースでお伝えします。

【経営懇・活動日誌】6月

- 6月6日（月）総会に向けた配信機材確認・打合せ。
 - 6月8日（水）経営懇事務局打合せ。会計監査。
 - 6月13日（月）夏季セミナー打ち合わせ（企画検討）
 - 6月16日（木）役員選考委員会。
 - 6月18日（土）全国合研オンライン分科会 うちあわせ会議。
 - 6月20日（月）三役会、役員会。
 - 6月25日（土）全保連常任幹事会。
 - 6月27日（月）2022 年度総会。
- 29 都道府県から 180 か所接続。

同 封 資 料

- 各政党の保育政策
参議院選挙に向けて、各政党の保育政策資料です（全保連まとめ）。
- 選挙に行こうリーフ